

睦眉会会報

発行者 徳島大学睦眉会

徳島大学医学部保健学科同窓会

徳島県徳島市蔵本町3-18-15 〒770-8509

徳島大学医学部保健学科内

TEL 088-633-9067 FAX 088-633-9070

発行責任者 河田明男

混迷する政治と医療のすがた



徳島大学睦眉会 会長
河田明男
(診療放射線技師学校 第3期生)

毎年のように首相が交代しています。安倍、福田内閣から麻生首相の率いる内閣が成立しました。政権運営の手法は行政のあり方と密接な相関があります。政治哲学を同じくする者が政党を組織し政治を行い、立憲君主国・日本が自由主義経済社会の一翼を占めている事は広く衆知の事実であります。近年の世界的マネーゲームの影響を受けて、日本経済は減速、低迷の状況に陥ったのです。気候温暖化の影響から食料防衛も、また重要な政治課題となりました。第一次産業の保護は国家が成り立っていく基本施策だが、諸外国に依存する日本の昨今では国民の健康維持にも危険な事象を見せています。劇場型選挙で小泉内閣が圧倒的勝利を勝ち取り、結果「歳出の見直し」に集約される政治手法で国民的インフラは崩壊し、地方財政が成り立たなくなって国民生活が崩壊しつつあります。この数年間の世の中を俯瞰するとこのような表現で説明できるでしょう。

我々が従事する医療の世界は激動しています。医療と福祉の棲み分けが着々と進んでいます。具体的には療養型病床の削減、後期高齢者医療制度の創設と推進、包括医療制度では機能係数の廃止、総務省が進める「公立病院改革ガイドライン」では不採算施設の存続問題等々、住民には願望である「良い医療」を提供する事が不可能な仕組みが着々と構築されつつあります。

一般会計では毎年一定額の医療費削減を進めると厚労省は明言しています。「フリーアクセス」「国民皆保険」はWHOが認める世界最高の医療制度でした。しかし医師の偏在と不在が招く医療提供のアンバランスは国民に切実な不安だけを与えてしまいました。

納税者として全ての国民は、適正かつ安心な医療を受ける権利が保障されているのです。為政者の都合や戦略で基本的生存権が脅かされ、不満のはけ口が医療者やその周囲の人々に向けられ、院内暴力という姿で現れて来るならば誰も満足しない。国家予算的には莫大なコストをかけていながら人々には不満な現制度を維持しなければならない事となっています。誰一人として納得しない制度ならば、英知を結集して変更すべきです。納税者たる善良な国民がこぞって支持し育てる地域医療機関が発展存続し、機構制度的には、より良い医療制度へと変革する努力を積み重ねる時が来ています。

「大学の個性・特色と社会ニーズ」



徳島大学理事 (総務担当副学長)
黒田泰弘

やっと秋らしくなりましたが、睦眉会会員各位におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。日頃は、徳島大学をご支援いただきありがとうございます。

徳島大学が法人化されて早くも4年が過ぎました。本年度は、この4年間の大学の実績が評価され、その評価結果が平成22年度から始まる第二期(6年間)の国からの補助金(運営費交付金)に反映させられることになっています。

保健学科には、この4年間に大学院保健科学教育部修士課程と助産学専攻科が、そして、本年4月には博士課程(保健学)が設置されて高度専門医療人の養成体制が整いました。また、養護教諭の一種免許と専修免許も取得できるようになりました。国家試験の昨年度合格率も、看護師免許96.9%、診療放射線技師免許94.4%、臨床検査技師免許100%、助産師免許100%、保健師免許98.6%と高率を維持し、教育の質の高さを誇っています。

第二期は大学の個性、特色を出すことが第一期以上に求められます。保健学科も、上述した学科の強みと社会的な好機を十分に生かして個性、特色を出すとともに学科の弱みを是正し、社会的な脅威に対応しなければなりません。

10年以内に道州制が導入されるといわれています。徳島県が、四国州、中四国州あるいは近畿州のいずれになるかは分かりません。例えば、四国州になると国立大学本部が一つになり、本学は、四国州大学徳島校になるでしょう。そのときまでに教育研究組織を、さらに整備・充実し、研究面での実績を蓄積し、人材を育成しておくことが大切です。

教育研究組織を整備するにあたっては、①社会ニーズや入学者の確保、就職先等の見込みの検証が行われているか、②18歳人口の減少を踏まえた検討がなされているか、③本学の置かれた状況や、その個性・特色を活かし、地域社会の特性や要請を踏まえているか、などに留意しなければなりません。

最近、看護師の需要は多く、看護師養成機関が相次いで設置されています。また、看護師養成機関の教員の大学院教育へのニーズが増加しています。このような社会ニーズの下で、例えば、全国的にも数少ない看護学博士を取得できる専攻を設置するならば本学の強み、特色の一つになるでしょう。そのためには今から計画的な人材育成が望まれます。

睦眉会会員の皆様からも、本学のさらなる発展のために、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

同窓生通信

「日々是学び」

今から4年前、ご縁があり私は徳島大学医学部保健学科に勤務することとなりました。私が卒業しましてからはずいぶんと時間が経っていますが、学校の建物だけを見ているとその頃とあまり変わっていないように思えます。しかし、当時は3年制の徳島大学医療技術短期大学部でしたが、平成13年10月に医学部保健学科が発足し、平成18年には博士前期課程、そして今年度からは博士後期課程がそれぞれ設置されました。学部および大学院を含めて、多くの学生の皆さんが充実した学びの日々を送っています。

ところで、現在私は主に実習を中心として学生の皆さんと日々接しています。看護学生にとって、実習のインパクトは決して小さいものではなく、私自身も断片的ではありますが、いまだに実習の思い出は残っています。ですから、大学に参りまして初めて担当する実習が近づくにつれて、非常に緊張と不安を覚えました。しかし、いざ実習が始まってみると、実習を通して学んでいくのは学生だけでなく、自分自身も日々多くのことを学んでいることに気づかされました。臨

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

保健科学部門看護学講座

橋本浩子

(医療短大 看護学科 第1期生)



床では当たり前と思っていたケアでも、学生からの質問でその意味を改めて考え直してみたり、また自分自身がスタッフとして患者さんと関わっている時とは、違う視点での気づきも多々ありました。何より学生の患者さんを思う純粋な気持ちに触れるなかで、私自身が看護について今一度多くのことを考えさせられました。そして振り返ってみた時に、学生だった自分は先生方からさりげなく、多くのアドバイスやサポートを受けていたことを改めて実感しました。

今、社会の変化の中で看護に求められるもの、看護が果たす役割は変化しています。限られた時間の中で学生の皆さんに、何をどのように伝えて支援していけばいいのか。臨床から教育・研究の場へと移って3年が過ぎましたが、課題多き毎日です。ただ幸いなことに、今私の周りにはこのような悩みに対して相談にのりアドバイスを下さる先生方がたくさんいます。日々是学びの毎日ですが、学生の皆さんが徳島大学で学んで良かったと思えるように、これからも努力していきたいと思えます。

「ニカラグアでの2年間」

寺沢病院 放射線部

笠原正臣

(医療短大 診療放射線技術学科 第4期生)



日本に帰国して、はや10年になります。

10年前、私は青年海外協力隊員としてニカラグアにいました。帰国後、「ニカラグア？アフリカですか？」とよく聞かれました。今でもよくそのように聞かれます。「アメリカと南米の間の細くなったところで、パナマ運河の上の上にある国です。」と答えます。なんとなく位置関係が分かってもらえますか？

ニカラグアのあたりを「中米」といい、ニカラグアはその中米のおよそ中央に位置し、北はホンジュラス、南はコスタリカと国境を接し、太平洋とカリブ海側に海岸線を有しています。面積はおよそ北海道と九州を合わせた広さで、人口の半分は太平洋側に集中しています。国土の半分は未開発の熱帯雨林に覆われています。ここまで聞くと、ジャングルの中にいたかのように聞こえますね。私の住んでいた所はニカラグア南西部のリバス県リバス市、首都からバスで約3時間の町で、県人口は約15万人の3階建て以上の建物は無い都市(?)でした。

そのリバス市の国立病院で私は2年間活動をしていました。活動目的は現地の放射線技師に撮影技術を教えるというものでした。その病院のX線装置は全部で5台もありました。またその装置はすべて、様々な国からの援助で導入されていました。しかし、そのうち4台は故障して動かない状態にあり、残り1台の装置を何とか修理して動かしていました。故障して動いていない装置のうちの1台は日本からの援助で入ってしま

た。現地の放射線技師の要望は「撮影技術なんか必要ない。今している技術で十分。必要なのは機械を直してもらおう」というものでした。しかし、日本では機械が故障すればメーカーに電話、メーカーが修理。装置の修理など見たことはあっても実際にやったことはありませんでした。結局、私は現地のスタッフたちの要望には直接的には応えることができず、撮影技術の向上、現像に関する知識や技術の向上を中心に活動を行いました。そのほか、日本では当たり前のように行われている「使用済み注射針の分別」をプロジェクトとして立ち上げ、保健所の職員と連携して行ったり、地方の診療所でX線装置のある施設に放射線技師を派遣するプロジェクトなどを企画したりもしました。

また、現地スタッフが日本で研修を行い、自国に戻り、その技術を生かすというプロジェクトに申請をし、1名のニカラグア人女性放射線技師が、徳島大学病院に10ヶ月間もの間お世話になり、研修を行ってもらいました。

協力隊活動もさることながら、現地での生活は、今思い返してみると、日本で生活していたのでは得られない、刺激的な出来事の連続でした。ホームステイ先の家族・友人・食事・お酒・パーティー・ダンス・市場・バスターミナル・雨のにおい・停電の時の星空etc…。10年も前のことが本当に昨日のように鮮明に思い出されてきます。

私は、この2年間で第二の故郷ができました。彼らとの手紙連絡はまだ続いています。

「秘密の花園」

クラスメートから「睦眉会会報へ原稿を書け」との依頼があり、「何を書こうか」と思案すること数日。お堅い内容では誰も読まないだろうし、スナップ写真OKとのことなので、趣味と実益を兼ねた「秘密の花園」でのガーデニングおよび菜園について筆を執ってみたい。

「秘密の花園」を得たのが平成17年のこと。試験管より重たいものを持ったことのない手にいきなり鍬やスコップを持ったものだから、解剖学の復習をすること毎日。筋肉痛と闘い、365日花の絶えることのない花園をコンセプトに、花や果樹の選定を行った。平成18年に入ってから定植に取り掛かり、以下のレイアウトから「秘密の花園」をイメージし



徳島大学病院 輸血部
渡 邊 博 文
(衛生検査技師学校 第5期生)



ていただきたい。花園の入り口には自作のトトロのリースがお出迎え(写真)。中に入ると中央には棘のないバラ(赤、ピンク、クリーム)を3種、バラの背景には竹垣に這わせた5種類のクレマチス、シンボルツリー(夫婦木)はバラを挟むように東側に赤のモクレン(AB型)、西側には黄のモクレン(A型)を配し、風水的に吉となるようにした。シンボルツリーを囲むようにして35種類のリコリスが秋に赤、オレンジ、黄、クリーム、白の花を添え、園の辺縁にはユリ、ジャーマンアイリスによるゴージャスな雰囲気、園の守護神として桜4種を東西南北のコーナーに配置した。さらにモノクロトーンになる真冬に色彩を添えるためにソシンロウパイ(芳香性)、紅白のクマラ(花がスズラン似)およびサザンカなどを西側と北側の辺縁部に追加した結果、期待通り一年中花の絶えない園の完成となった。並行して土壌改良の作業していた菜園からも完全無農薬、有機栽培による安全で美味しい四季折々の野菜類が次々と収穫できるようになり、こちらの方が家族には喜ばれている。四季の花を愛でながら農作業をしていると、1日は瞬時に過ぎ、次の土日までは園芸、農作業に関する図書が遊び相手となるが、来年からはサンデー毎日の日々が続くので、「秘密の花園」は格好の遊び場になりそうだ。

「新病院で思うこと そしてこれから」

周産期医療崩壊、産科小児科医不足、お産難民、産科医療過誤と連日マスコミで盛んに報道されています。私は卒業すぐに、現病院に助産師として就職し22年になりますが、まさにその現場で、日々問題に直面しています。ハイリスク分娩、飛び込み出産、若年出産、もちろん正常分娩も。正常分娩というのはあくまでも結果であって、最初から100%正常であるとはいえません。産婦さん自身がどんなに妊娠中気をつけていても、医師や助産師がどんなに完璧な仕事をしていても、異常になる可能性はゼロではないのです。こんなことを書くと妊婦さんにとっては不安だらけですね。しかし、現代の妊婦さんはその現実を理解した上で出産に臨むという、知性と理性とが求められていると私は感じています。そのために助産師は妊産婦さんとその家族に寄り添い、様々なニーズに対応していかなければなりません。

さて私の勤務する徳島市民病院は、平成20年1月末に新病院に移転し、現在は2期工事中です。来年度には、駐車場やエントランス、外来の未完成部門、研修室等も完成の予定です。新病院になってから、分娩件数も3~4割ほど増加しています。

そこでの仕事はというと、現在は産婦人科病棟に隣接するNICUで勤務して4年目になります。それまでの「生まれたらあとお願いします！」から逆の立場になったわけです。超未熟児の呼吸循環管理の緻密さと熟練看護師のケア技術、何ら

徳島市民病院
武 田 美 枝
(看護学校第34期生 助産婦学校第29期生)



かの障害がある赤ちゃんの、退院にむけての家族への支援など、経験してみて初めてNICUのスタッフの大変さを痛感するとともに、産科との温度差を感じたことも事実です。今後また産科業務に戻っていくことになると思いますが、NICUでの経験や思いを忘れずに、産科とNICUの連携を密にすること、また他職種との連携を今以上に進めるべく何らかの役割ができなにかと模索しています。そして、なによりも大切なことは妊産婦さんがより快適に安全に出産ができ、楽しい子育てができることです。

ここ数年は病院の仕事だけで疲れ切ってしまい、趣味もできず、ボランティアからも遠ざかり悲壮な生活をしていましたが、これではいけないと一念発起しています。職場の同僚2人とベビーマッサージ教室を11月から院内で始めるべく準備中です。ベビーマッサージは、お母さんと赤ちゃんがともに気持ちよく楽しめて、また企画している私たちにとっても、至福の時間を過ごすことができます。マッサージが終わったあとにはお母さま方との会話も弾むことでしょう。

ストレスも多いですが、これからも周産期医療の現場で、一人でも多くの妊産婦さん、患者さんに関わっていきたいと思います。そして将来は、地域で活躍していらっしゃる助産師の先輩方のように、退職後も助産師として女性とその周りの人々に役立てる存在になれるよう、夢を持ち続けていきたいです。

徳島大学大学院 保健科学教育部博士後期課程に入学して



徳島大学大学院 保健科学教育部
生涯健康支援学領域 1年

木野綾子

昨年11月27日に徳島大学・保健科学教育部に博士課程が開講すると聞きました。漠然と博士課程には行きたいと思っていたので、考える間もなく書類を揃え願書を提出しました。今年の2月に受験し、4月には入学式を終えました。入学式翌日には科目履修届を提出し、学生にとっても、大学にとっても慌ただしく第1期生がスタートをきりました。

気がつけば前期も終わり、秋風と共に、1年次の後期を迎えようとしています。私たち第1期生は、看護学領域に4名在籍しているため、日々情報交換しながら、それぞれの研究テーマにそって探求を進めています。私にとっては、とっても心強い仲間です。先輩がいないため、同期の仲間の結束は強い。仕事をしながらの学生生活、二足のわ

らじは本当に厳しいとつくづく思います。それでも、仲間がいるので、励ましあいながら、ここまで歩んでくることができました。これからの道のりが厳しいことも覚悟しています。それぞれの立場が理解できるため、文献も紹介しあいながら、時には時間を忘れて議論をし、研究者の端くれになっているのかなと思ったりもします。今はただ真似事をしているだけと思いながらも、そんな姿が自分にとってはうれしい一瞬でもあります。

これからも、仲間と切磋琢磨しながら自分のゴールを目指したいと思います。これから入学を考えている皆さま、仲間と共に探求していく知的活動はとっても楽しい体験です。仕事を持っているからこそ深められることも確かにあります。ぜひ、同じフロアで議論しましょう。



徳島大学大学院 保健科学教育部
医用情報科学領域 1年

武藏美緒

入学してから早くも5ヶ月が過ぎようとしています。現在、医用画像の動的領域分割に関する研究を行っています。近年、医用画像の情報量の増加に伴い、画像診断を行う医師の負担が増加しています。そこで注目されているのが、画像診断支援システムです。画像診断支援システムは、コンピュータによる自動処理を用いて、医師の負担を減らし、的確な画像診断が行えるよう支援するシステムです。私たちが研究している画像領域分割は、画像診断支援システムの基礎となる画像処理法の一つです。医用画像から臓器、骨、腫瘍などの対象となる特徴領域を適切に抽出するためのシステムを非線形力学系の分岐理論に基づき設計しています。このシステムについて、先日、「動的画像領域分割方法、動的画像領域分割装置、および動的画像領域分割プログラム」という名称で特許を出願したところです。将来、研究成果が医用機器に応用され、医用診断の性能向上に貢献できる可能性があるということは、とても有意義であると感じています。今年の6月にはスロバキアで行われた国際学会で研究成果の発表を行いました。初めて

の国際学会での発表で、とても緊張しましたが、大勢の研究者に研究成果を聞いてもらい、興味を持ってもらうことができました。また、ヨーロッパを中心に各国から集まった研究者達の発表を聞き、自分の視野を広げるとも良い経験になりました。授業では、現在の研究内容の基礎となる非線形力学系の分岐理論についての理解を深めるだけでなく、保健科学について多様な観点から学んでいます。

私は現在、大学院に通う一方で、阿南工業高等専門学校で技術職員として働いています。より高度な教育の実践のため、技術職員も教員と同様に、科研費等の外部資金を得、自主的に研究を進めていくことが求められています。大学院では、研究に関する新しいアイデアを創成する能力や問題を解決し研究を遂行していく能力を培い、学んだことを学生実験支援業務などの教育の場にフィードバックしていきたいと考えています。

学生と社会人の二つの生活の両立は大変ですが、自分なりに楽しみながら頑張っていこうと思っています。

退職後の近況

徳島大学名誉教授
元徳島大学医学部保健学科教授

竹 川 佳 宏



大学卒業後凡そ40年間、徳島大学在職中は色々とお世話になりました。平成20年3月の退職からはや6ヶ月が過ぎましたが、大学の延長で張り切りすぎと、この夏の暑さの影響もかさなり、年には勝てず少しばて気味の今日です。あとどれだけ持つか少々不安を憶えています。

現在の仕事は、週5日外来診療を勤めています。癌のセカンドオピニオン、検診業務と漢方診療です。後の2つは毎月件数が増えてきています。大学病院での診療では見られなかった様な多岐にわたる疾患に対して、貴重な経験をさせて頂いております。特に、井形高明名誉教授と共に骨粗鬆症性脊椎骨折に対する保存療法に漢方を併用する治療のスタートを検討しています。かなり期待が持てそうです。過去に処方する先生が少なかったためか、ゆっくりですが漢方医療が地域に根づいてきています。これは非常に

喜ばしい事と受け止め、一生懸命に頑張っています。

引き続き徳島大学との接点は、臨床教授として以前どおり漢方の講義をさせて頂いております。退職後大学から離れると、講義が懐かしくついついしゃべり過ぎて時間をオーバーしてしまいます。

趣味が少ないこともあり、退職後も学会等には出来るだけ出席して、色々勉強するようにしています。4月は、日本医学放射線学会（横浜）、6月は、日本東洋医学会（仙台）、日本頭頸部癌学会（東京）、放射線による制癌シンポジウム（高知）、アルカロイド研究会（大阪）、日本医学放射線学会中四国地方会（島根）、漢方研究会（京都）、7月は、日本東洋医学会徳島県部会（主催）、8月は、日本乳癌学会中四国地方会（米子）、和漢医薬学会（大阪）、9月は、日本乳癌学会（大阪）と結構忙しく飛び回っています。

また先日、青藍会の仁木敏晴会長より副会長に推薦され、母校の発展に寄与する旨委託状が届きました。今後も皆様方のお役に立つようにもう少し頑張ってみようと思っております。宜しくお願いいたします。

平成20年度 徳島大学同窓会連合会交流会 「びざん会」に参加して

睦眉会副会長
徳島大学病院 地域医療連携センター

杉 原 治 美

(看護学校第27期生 助産婦学校第22期生)

平成20年6月1日（日）正午から阿波観光ホテルクリスタルパレスで、平成20年度徳島大学同窓会連合会交流会（びざん会）が、出席者118名で開催されました。徳島大学の同窓会員数は65,364人（20.5.27現在）で、そのうち睦眉会は5,281人と8つの同窓会のうち4番目の人数です。連合会は平成18年1月に創設され、交流会は今年で第3回目でした。昨年は睦眉会からの参加は4名でしたが、他の同窓会からは多く参加されていた為、今年度は大勢で参加しようと、河田明男会長、東條幸美副会長、手塚健一監事、梅野真由美理事、加根千賀子理事と私の6名で参加させて頂きました。

会場に入ると、産婦人科での勤務を覚えてくださったのか、青野学長から睦眉会は「むつみ会」と読むのでもいいのかなど、話しかけて頂き感激しました。各同窓会代表者挨拶では、現在の難しい医療の問題についての話が多くありました。暗い話が多い中、印象に残ったのは、最後



のあいさつで齊藤前学長が世界に誇れる日本のサイエンスについて話されたことです。まだ、日本にも少し明るい未来があるかなと希望を抱きました。

今回は、昨年に続き2回目の参加でしたが、前回の立食と違って座席表が決まっておき、武田元学長をはじめ、齊藤前学長、黒田理事と豪華メンバーの「竹」テーブルでした。緊張をしていましたが、若輩の私にいろいろお話をしてくださり、親睦と交流ということで楽しい時間を過ごすことができました。また、大学開放実践センターの田中俊夫教授のご指導のもと、参加者全員で阿波踊り体操を踊ることができました。こんな機会は1年に1回のことです。

最後に、この会の目的である、徳島大学が8つの各学部を中心とした同窓会で相互に連絡を取り、力を合わせて母校の発展に寄与するための親睦の実をあげることができようようにと、会員の皆様に参加させて頂いた感謝の気持ちを込めて報告させて頂きます。



第7回 睦眉会主催講演会に参加して

睦眉会監事 後藤美弥子 (看護学校 第10期生)

当日は昨夜来の雨も上がり、クレメントホテルから眺める眉山もワシントン椰子の緑も美しく輝いていました。

第七回 睦眉会主催講演会
「改めて問われる食品の安全と安心とは」
講師 とくしま生協 ISO推進室 食品安全管理責任者 柏木 正照 先生

日本の食料自給率は40%を下回り、先進国の中でも最も低く諸外国からの輸入に頼っている。アメリカ産牛肉のBSE問題、中国産冷凍餃子問題、国内においても消費者を欺く事件が次々と後を絶たない。

今回、とくしま生活協同組合で食品の安全管理責任者としてご活躍の柏木正照先生をお迎えし、「改めて問われる食品の安全と安心とは」をテーマにご講演いただいた。先生はISO2200事務局長も兼務され、食品管理のスペシャリストです。食品汚染の背景として、①自給率の低下②輸入食品の抜け穴だらけの検査体制③食品企業のモラルの低下を挙げられました。急増する輸入現場で検疫が正確に行なわれていない。輸入農産物と一緒に病害虫も混入されている。特に小麦の自給率は、14%でアメリカ・カナダ・オーストラリアに頼っている。収穫した小麦は、低温保存されず害虫を防ぐために収穫後殺虫剤が使用されている。農水省が行なった2005年の調査ではクロルピリホスメチルやマラチオンが検体の90%以上に残留していた。有機リン系農薬は、視

神経を悪くし、環境ホルモン作用がありアレルギーの原因となる。フードマイレージにも触れ地産地消の意義を学んだ。(長距離輸送で排出される二酸化炭素削減)

2008年9月、三笠フーズの汚染米の不正転売が日本中を駆け巡った。工業用として輸入したお米を食料として過去6年間転売、農水省の管理体制が問われている。食品を取り扱う企業の、モラルの低下が悲しい。

身近な事例を通して解り易く、清潔感溢れる先生のお人柄に魅せられた講演会となりました。



睦眉会HPをリニューアルして

睦眉会
(徳島大学医学部保健学科同窓会)



徳島大学医学部保健学科棟

| | | | |
|--------|-------|-----|------|
| お知らせ | 睦眉会会報 | 事務局 | Bank |
| お問い合わせ | | | |

睦眉会会報第七号で紹介のありました徳島大学医学部保健学科同窓会のHP(ホームページ)をこの度リニューアルいたしました。前回のブログ形式から改良を加え、たくさんの情報を様々な形式で同窓会会員の皆様へお伝えできるように、また同窓会会員の皆様からもたくさんの情報をお伝えしていただくためにも活用していきたいと考えています。そのため今回の改良では、「問い合わせ」の項目を作成しました。同窓会会員の皆様からたくさんのご意見やご要望をお待ちしております。できる限り同窓会会員の皆様に満足していただけるように、見やすく親しみ

睦眉会理事 (HP委員)
徳島大学病院 診療支援部放射線技術部門

山田 健二

(医学部保健学科
放射線技術科学専攻 第1期生)



のもてるHPを完成させられるよう試行錯誤をしているのが現状です。我々HP委員は、これからも楽しい内容を提案し、ご提供できればと考えています。私個人としましては、同じ志をもち同じ卒業校をもつ先輩や後輩の方々との交流の場を提供できればと考えています。今住んでいる場所や出身地を越えた交流の場を持つことができればこのHPは大成功を収めると考えています。睦眉会HPは管理者側の情報発信の場としてだけでなく同窓会会員の皆様の間だということをご理解いただいたうえでのご協力、ご指導をよろしく願いいたします。また、今後の発展にぜひご期待下さい。最後にHP作成にご協力いただきましたHP委員の皆様ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

睦眉会 (徳島大学医学部保健学科同窓会)
(<http://mutsumi.web5.jp>)

平成20年度 徳島大学睦眉会総会要綱

| | | | |
|-----------------------------|----------------|-------------|---|
| 平成20年6月29日(日) ホテルクレメント徳島 | 【日 程】 | | |
| | 1. 平成20年度総会 | 10:00~10:30 | |
| | 2. 徳島大学紹介 | 10:30~10:50 | 徳島大学理事(副学長) 黒田 泰弘 先生 |
| | 3. 第7回睦眉会主催講演会 | 11:00~12:00 | 演題「改めて問われる食品の安全と安心とは」 講師 柏木 正照 先生 (とくしま生協 ISO推進室 食品安全管理責任者) |

総会次第

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 開 会 | 4. 議案審議 |
| 2. 会長挨拶 | (1) 平成20年度予算案、事業計画案について |
| 3. 議 事 | (2) 睦眉会会則の改正について |
| (1) 平成19年度事業報告 | (3) 役員改選案について |
| (2) 役員会報告 | 5. その他 |
| (3) 平成19年度会計報告 | 6. 閉 会 |
| (4) 会計監査報告 | |

平成19年度 事業報告

- 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席 ・平成19年5月27日(会長 他3名)
- 総会の開催(役員会で総会に代える) ・平成19年7月4日(参加者 14名)
- 睦眉会会報の発行 ・平成19年11月30日
- 卒業式・医学部各賞授与式出席 ・平成20年3月24日(会長 他)

役員会報告

1. 役員会開催状況(平成19年4月~20年6月)

| 回数 | 開催日 | 場 所 | 参加人数 |
|----|---------------------------|------------|-------|
| 1回 | 平成19年4月25日(水) | 保健学科会議室 | 12名 |
| 2回 | 総会開催(役員会) 平成19年7月4日(水) | 保健学科会議室 | 14名 |
| 3回 | 平成19年9月12日(水) | 保健学科会議室 | 13名 |
| 4回 | 平成19年11月5日(月) | 保健学科会議室 | 12名 |
| 5回 | 平成20年3月5日(水) | 保健学科会議室 | 13名 |
| 6回 | 平成20年4月23日(水) | 保健学科会議室 | 14名 |
| 7回 | 平成20年5月16日(金) | 保健学科会議室 | 14名 |
| 8回 | 平成20年6月13日(金) | 保健学科会議室 | 14名 |
| 9回 | 総会開催 平成20年6月29日(日) | ホテルクレメント徳島 | 会員39名 |

〈ホームページ委員会開催〉

| 回数 | 開催日 | 場 所 | 参加人数 |
|----|---------------|---------|------|
| 1回 | 平成19年5月16日(水) | 保健学科会議室 | 6名 |
| 2回 | 平成19年6月27日(水) | 保健学科会議室 | 3名 |

2. 役員会における主な協議事項

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1) 睦眉会総会・講演会開催について | の参加について |
| 2) 睦眉会会則の改正について | 7) 徳島大学創立60周年記念事業への協力について |
| 3) 役員改選について | 8) ホームページ開設について |
| 4) 睦眉会会報の発行について | 9) 次回の睦眉会名簿の発行について |
| 5) 徳島大学同窓会連合会への協力について | 10) 卒業・修了記念品、および入学記念品について |
| 6) 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」へ | |

平成19年度 会計報告

(平成19年4月1日～20年3月31日)

【収入の部】

| 項 目 | 金 額 |
|--------------|------------|
| 本部会費 (159名分) | 3,180,000 |
| 雑収入 (貯金利子) | 13,180 |
| 繰越金 | 7,977,586 |
| 収入合計 | 11,170,766 |

【支出の部】

| 項 目 | 金 額 |
|----------------------------|-----------|
| 総会費用 | 21,825 |
| 印刷費・送料 (会報代を含む) | 1,019,965 |
| 会議費 | 124,150 |
| 雑費 | 28,952 |
| 慶弔費 (入学・卒業記念品、退職教員記念品代を含む) | 646,900 |
| 備品費 (ホームページ用コンピュータ 一式) | 476,739 |
| 支出合計 | 2,318,531 |

【収支決算の部】

| 総収入額 | 総支出額 | 次年度繰越額 |
|------------|-----------|-----------|
| 11,170,766 | 2,318,531 | 8,852,235 |

平成20年3月31日 会計 梅 野 真由美

会計監査報告

平成19年度の会計報告書を監査いたしました。
会計処理は、適正に、正確に処理されていることを証明いたします。

平成20年5月16日 監事 後 藤 美弥子
手 塚 健 一

平成20年度予算

【収入の部】

| 項 目 | 金 額 |
|--------------|------------|
| 本部会費 (167名分) | 3,340,000 |
| 雑収入 (貯金利子) | 10,000 |
| 繰越金 | 8,852,235 |
| 収入合計 | 12,202,235 |

【支出の部】

| 項 目 | 金 額 |
|----------------------------|-----------|
| 総会・講演会費用 | 300,000 |
| 印刷費・送料 (会報代を含む) | 1,500,000 |
| 会議費 | 150,000 |
| 雑費 | 30,000 |
| 慶弔費 (入学・卒業記念品、退職教員記念品代を含む) | 700,000 |
| 支出合計 | 2,680,000 |

提案どおり承認されました。

平成20年度 事業計画

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 入学記念品 (弁当) の贈呈 | 平成20年4月6日 |
| 2. 徳島大学同窓会連合会交流会への出席 (会長他) | 平成20年6月1日 |
| 3. 総会・講演会の開催 | 平成20年6月29日 |
| 4. 睦眉会会報の発行 | 平成20年11月頃発行予定 |
| 5. 卒業式・医学部各賞授与式出席 (会長他) | 平成21年3月23日 |
| 6. 卒業・修了記念品の贈呈 | 平成21年3月23日 |

徳島大学睦眉会会則 改正

変更箇所のみ抜粋 (* 赤字は改正点を示します)

第8章 会 計

- 第20条 会費は、本部会費20,000円を準会員が終身会費として、入学手続き時に納入するものとする。
ただし、**入学生のうち、本学出身者で、すでに正会員となっている場合は、これを免除する。**
- 2 第15条による支部の支部会費は、別に定め、準会員が卒業時に、当該支部へ納入するものとする。

附 則

- この会則は、平成 8年 1月20日から施行する。
この会則は、平成13年10月 1日から施行する。
この会則は、平成16年 1月 1日から施行する。
この会則は、平成18年 4月 1日から施行する。
この会則は、平成20年 7月 1日から施行する。

徳島大学睦眉会 新役員

(2008.6.29~)

| 役職 | 氏名 | 所属 | 勤務先 | 所在地 | 電話番号 |
|-------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 名誉会長 | 山野 修司 | 学科長 | 徳島大学医学部保健学科長 (徳島大学大学院HBS研究部:看護) | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9083 |
| 会長 | 河田 明男 | 放 | 徳島県立中央病院 医療技術局 放射線技術科 | 〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3 | TEL 088-631-7151 |
| 副会長 | 東條 幸美 | 看 | 徳島大学病院 3病棟7階 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-7233 |
| | 安田 健三 | 放 | 田岡病院 放射線部 | 〒770-0906 徳島市東山手町 1-41-6 | TEL 088-622-7788 |
| | 江原 隆 | 検 | 徳島市民病院 中央検査科 | 〒770-0812 徳島市北常三島町 2-34 | TEL 088-622-5121 |
| | 杉原 治美 | 助 | 徳島大学病院 地域医療連携センター | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9401 |
| 理事 | 事務局 | 梅野 真由美 | 徳島大学大学院HBS研究部 医用検査学講座 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9067 |
| | | 会計 | 橋本 浩子 | 徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 |
| | 竹林 桂子 | | 徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 助産学 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9081 |
| | 総務 | 市原 多香子 | 徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9038 |
| | | 富永 正英 | 徳島大学大学院HBS研究部 医用情報科学講座 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9863 |
| | 松浦 千恵子 | 徳島大学大学院HBS研究部 医用検査学講座 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9069 | |
| 葉久 真理 | 徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 助産学 | 〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15 | TEL 088-633-9080 | | |
| 理事 | 看 | 加根 千賀子 | 徳島大学病院 脳神経外科・形成外科・麻酔科外来 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-7147 |
| | | 真鍋 理絵 | 徳島大学病院 東病棟8階 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9381 |
| | | 米田 好美 | 徳島市民病院 回復期・リハビリテーション病棟 | 〒770-0812 徳島市北常三島町 2-34 | TEL 088-622-5121 |
| | | 米崎 恵子 | 徳島大学病院 整形外科外来 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-7237 |
| | 放 | 天野 雅史 | 徳島大学病院 診療支援部 診療放射線技術部門 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9090 |
| | | 山田 健二 | 徳島大学病院 診療支援部 診療放射線技術部門 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9079 |
| | | 山岡 哲也 | 徳島県立中央病院 医療技術局 放射線技術科 | 〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3 | TEL 088-631-7151 |
| | 検 | 笹川 知位子 | 徳島県立中央病院 医療技術局 検査技術科 | 〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3 | TEL 088-631-7151 |
| | | 阿部 房江 | 徳島大学病院 診療支援部 検査部 | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9307 |
| | | 山田 順子 | 徳島県立中央病院 医療技術局 検査技術科 | 〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3 | TEL 088-631-7151 |
| | | 助 | 中道 玲子 | 自宅 | 〒770-0006 徳島市北矢三町 4-9-8-2 |
| | 前田 恵子 | | 徳島大学病院 東病棟3階 (周産母子センター) | 〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1 | TEL 088-633-9331 |
| 監事 | 後藤 美弥子 | 看 | 自宅 | 〒771-0142 徳島市川内町沖ノ島 447-14 | TEL 088-665-2491 |
| | 手塚 健一 | 検 | 自宅 | 〒779-3124 徳島市国府町中 570-2 | TEL 088-642-0324 |

徳大ニュース

徳島大学に関するニュースをお届けします。詳細は徳大広報並びに本学ホームページを御覧ください。
また、会員の皆様の御意見や御要望をお寄せください。

徳島大学総務部秘書課 (Tel:088-656-7021 Fax:088-656-7012)

E-mail:hibunsyok@jim.tokushima-u.ac.jp URL:http://www.tokushima-u.ac.jp)

I 学内の状況

■大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程を設置

平成20年4月より徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程を開始しました。博士後期課程の教育理念は、今日必要とされる医療に対し、保健学の視点から臨床応用を志向した学問を展開し、実地臨床に役立つ新しい知識の構築と臨床応用を通して、国民の健康増進と疾病の予防、医療、回復支援及び生活支援に資することができる教育・研究者を育成することで、定員は5人です。

博士後期課程には「生涯健康支援学領域」、「医用情報科学領域」及び「医用検査学領域」の3領域、「生涯健康支援看護学分野」、「成育医療学分野」、「医用情報科学分野」および「病態制御保健学分野」の5分野を設けています。

■疾患ゲノム研究センターを設置

平成20年4月1日付けで徳島大学に疾患ゲノム研究センターが設置されました。

本研究センターは、徳島大学ゲノム機能研究センターの改組により、生命システムを統合する原理の解明とその破綻による疾患の機序解明を目標に掲げ、他部局との共同研究や人事交流により国際的にインパクトの高い研究を継続して発信するとともに、遺伝子実験施設を強化し、全学の遺伝子組換え実験に関する教育訓練、研究支援及び安全管理の充実を図ります。

II 学生関係

■入学式

4月7日(月)、アスティとくしまで平成20年度入学式が挙行され、青野学長が合計2,003名(学部1年次1,323名、学部3年次68名、大学院修士(博士前期)課程487名、大学院博士(博士後期)課程114名、助産学専攻科11名)の入学を許可しました。

入学生を代表し、総合科学部自然システム学科の岡本明恵さんの総代宣誓の後、学長から「The more I learn, the more I realize I don't know. The more I realize I don't know, the more I want to learn.」～学べば学ぶほど自分がものを知らないことが分かる。知らないということが分かれば分かるほどもっと学びたくなる。」というアルベルト・アインシュタインの言葉が贈られ、「皆さんの今後の健康と明るい将来をお祈りしています。」との式辞がありました。

■全学共通教育優秀学生賞の表彰式

徳島大学全学共通教育センターは平成20年4月24日、平成19年度全学共通教育優秀学生賞の表彰式を実施し、全学共通教育成績優秀の19名の学生が選出され表彰状と記念品が授与されました。

全学共通教育優秀学生賞は、初年次学生の全学共通教育の成績優秀者を表彰することによって、全学共通教育における学生の勉学意欲向上のために制定されたもので、今回の表彰が第2回目です。

■四川省出身の留学生に対し授業料免除及び災害支援金授与式を実施

平成20年5月12日に大地震が起きた中国・四川省出身の留学生全員のうち、被害を受けた学部生2名、大学院生5名、研究生2名の計9名に対し、安心して勉学を続けてもらえるよう、学部生・大学院生の6名には、授業料(前期分)を全額免除とし、授業料免除の対象とならない研究生等の3名には、授業料(前期分)相当額を、徳島大学学生後援会から災害支援金として給付しました。

III 研究助成金

外部資金受け入れ状況(平成19年度)

| | | |
|------|--------|-----------|
| 共同研究 | 187件 | 463,003千円 |
| 受託研究 | 131件 | 917,364千円 |
| 寄附金 | 2,532件 | 726,231千円 |

編集後記

家のまわりに咲く白萩や水引、草藤をたっぶり手付き籠に山の空気をいけるようにいれてみました。

秋の澄んだ空気の中、会員の皆様お変わりなくおすごしのことと思います。

先日、待つ宵の観月茶会に行ってきました。茶道のおもてなしの心は心と心を尽くすこと、茶道も医道も奥を流れるものは同じではないかと思ながらの待つ宵でした。めぐりあうすべての方にどうかおもてなしの心でと祈ります。

国内外は今まさにめざましい変革の時、はたして徳島大学も夢ある未来に向かっていい方向に変革しているのでしょうか。野の花に聞いてみましょう。

睦眉会理事 中道 玲子